

「都市地域計画論・基礎編 I/基礎編 II」 シラバス (2022 年度)

担当：村山顕人 (都市計画研究室・准教授)
aktmurayama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

1. 講義目的

都市空間政策の基礎として、都市計画制度、都市マスタープラン及び土地利用・施設配置計画の内容と策定技法、地区の計画とデザインの枠組みと事例について学ぶ。

2. 講義項目

◆都市空間政策概論第 1 | 都市地域計画論・基礎編 I | 木曜日 6 限・7 限 (8 コマ)

- 10/6 都市地域計画の基本
 - ・都市の構成要素と都市計画の基本的枠組み
 - ・土地利用と施設配置の計画を示す図
 - ・なぜ土地利用や施設配置の計画が必要なのか
- 10/13 日本の都市計画の歴史と制度
 - ・土地利用・施設配置計画の歴史
 - ・現行の土地利用・施設配置計画制度
- 10/20 マスタープランと分野横断型空間計画
 - ・圏域マスタープラン・都市計画区域マスタープラン
 - ・市町村の都市計画マスタープラン、分野横断型の空間計画の試み
- 10/27 持続可能な都市の形態
 - ・コンセプト：「コンパクトシティ」、「間にある都市」、「パッチワーク・アーバニズム」ほか
 - ・市街地の類型とそれらの現状と趨勢
 - ・都市の構造や捉える枠組み：「スケルトン&インフィル」

◆都市空間政策概論第 5 | 都市地域計画論・基礎編 II | 火曜日 6 限・7 限 (8 コマ)

- 11/29 地区の計画とデザイン (枠組み編)
 - ・都市計画とまちづくりを捉える枠組み、空間計画制度の再編
 - ・都市計画・まちづくり分野の気候変動緩和・適応策
 - ・エコディストリクト (EcoDistricts)
- 12/6 地区の計画とデザイン (事例編)
 - ・既成市街地のエリアマネジメント (名古屋市錦二丁目)
 - ・駅まち空間のデザイン (四日市市中央通り)
- 12/13 学生による都市・地域計画の事例発表
- 12/20 課題整理と討論

3. 成績評価方法

事例発表・討論への参加状況 (12/13・20) と期末レポートにより評価する。なお、期末レポートは、講義中に実施する事例発表・課題整理と討論に関わる内容とする。「都市空間政策概論第 1」のみ、または、「都市空間政策概論第 5」のみの出席も可能とする。その場合は、成績評価や録画聴講の可能性について担当教員に相談すること。

4. 参考文献

- 1) 中島直人, 村山顕人, 高見淳史, 樋野公宏, 寺田徹, 廣井悠, 瀬田史彦: 都市計画学: 変化に対応するプランニング, 学芸出版社, 2018
- 2) トマス・ジーバーツ著, 蓑原敬監訳: 「間にある都市」の思想: 拡散する生活域のデザイン, 水曜社, 2017
- 3) 村山顕人: グリーンインフラによる都市の再構築, グリーンインフラ研究会・三菱UFJリサーチ&コンサルティング・日経コンストラクション編: 実践版! グリーンインフラ, pp.194-204, 日経BP, 2020.7
- 4) 村山顕人: 持続性と都市計画, 日本都市計画学会編著: 都市計画の構造転換: 整・開・保からマネジメントまで, pp.354-363, 鹿島出版会, 2021.3
- 5) 村山顕人: 都市プランニングの変革とタクティカル・アーバニズム, 泉山壘威, 田村康一郎, 矢野拓洋, 西田 司, 山崎嵩拓, ソトノバ編: タクティカル・アーバニズム: 小さなアクションから都市を大きく変える, pp.60-65, 学芸出版社, 2021.6
- 6) 山村崇, 村山顕人, 益尾孝祐, 市古太郎, 坂井遼, 中島弘貴, 福岡孝則, 藤井正男, 藤賀雅人, 圓山王国, 森重幸子, 日本建築学会編: 都心周縁コミュニティの再生術: 既成市街地への臨床学的アプローチ, 学芸出版社, 2021.12